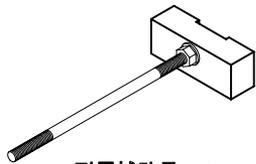


●付属部品一覧表

EP耐震具



耐震補助具×2
(Sタイプ: L=200mm)
(Lタイプ: L=400mm)



蝶ナット×2



ワッシャー×2

～ご注意～

耐震補助具は地震の揺れ始めの際に家具が即転倒する事を防ぎ、避難するまでの時間を作る為の補助具です。
転倒防止をお約束するものではありません。

「耐震補助具」取扱説明書

ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」を良く読んで据え付けを行ってください。
なお、この「取扱説明書」は、家具の移動などに備えて大切に保管しておいてください。

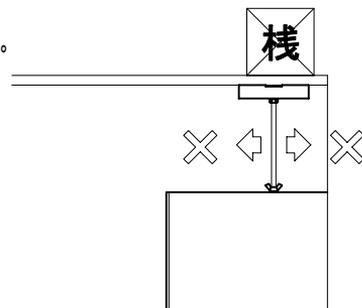
取扱上の注意

- 耐震具を取り付ける本体もしくは上置は必ず連結させて使用してください。
連結方法については、本体及び上置の説明書をお読みになり、付属の連結用ボルトにて連結を行ってください。

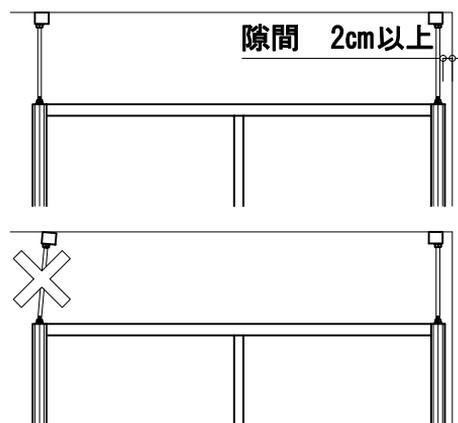
Lタイプの耐震補助具については、本体にのみセット可能です。

上置にLタイプのセットは構造上できません。あらかじめご了承ください。

- 天井の強度をあらかじめ確認し、なるべく天井の棧の通っている場所に据え付けてください。
(耐震補助具の位置は移動できません。あらかじめご了承ください。)



- 耐震補助具をご使用の際は側面と壁の隙間を**2cm以上**あけてください。
(耐震補助具の高さ調整が不可能となります。)



- 耐震補助具をセットする際は、垂直にセットして下さい。
- 耐震補助具の適用範囲は本体もしくは上置の天板から**Sタイプは50mm～100mm**(Lタイプ(本体のみ)は**50mm～300mm**)までとなっております。
Sタイプは100mm(Lタイプは**300mm**)を越えると不安定となり、十分な効果が得られなくなります。

Sタイプ: 50mm～100mm
(Lタイプ: 50mm～300mm)

- 設置後、数日したら天井への圧着状態を点検して頂き、圧着が弱い場合には調整ネジを増し締めしてください。
(床が畳の場合、定期的に調整ネジの増し締めを行ってください。)
- 耐震具はどんな状態でも完全に家具の転倒を防止する物ではなく、転倒しにくくするものです。天井・家具・床の強度・状態によって、十分な効果が得られない事があります。

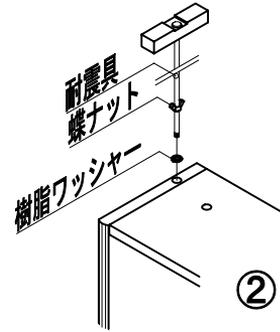
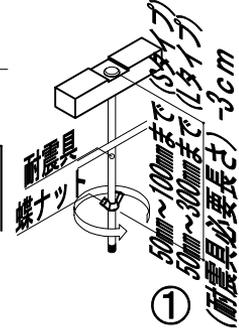
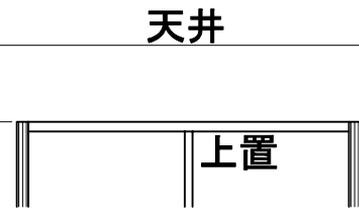
耐震補助具のセット方法

あらかじめ必要とする耐震補助具の長さを事前に計り、蝶ナットを耐震補助具にセットします。蝶ナットは必要とする長さより3cm程度短くなるようにセットしてください。

(上置を本体にセットする際に、セットできなくなる可能性があります。)

本体もしくは上置の天板に開いている専用の穴に、ワッシャーを通した耐震補助具の通した耐震補助具のボルトをセットします。

耐震補助具
必要長さ



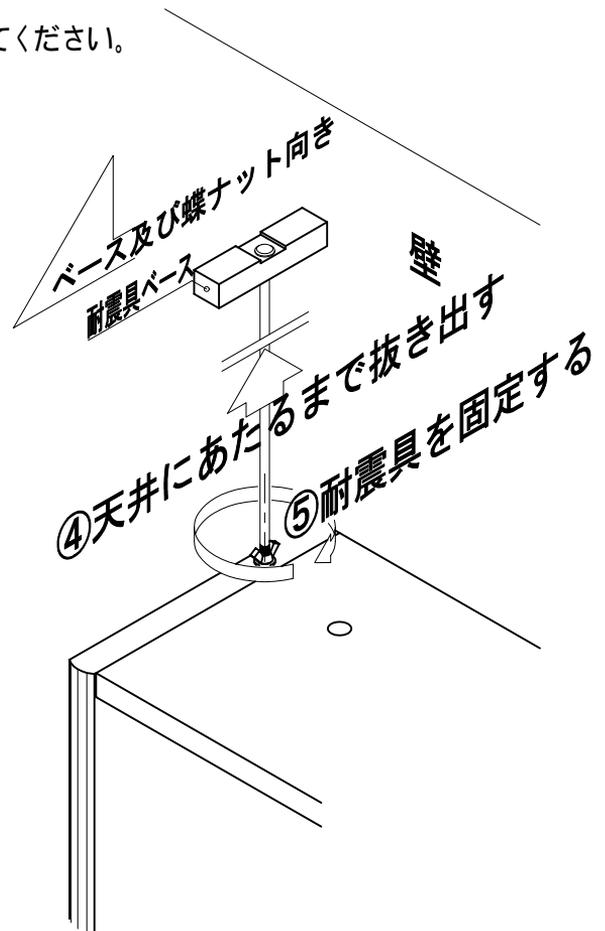
耐震補助具をセットした本体もしくは上置付属の連結用ボルト(短)を使用して重ねる本体もしくは上置の説明書をお読みになり、連結を行ってください。

耐震補助具を抜き出し、天井と本体もしくは上置の高さを決めてください。

この時、耐震補助具のベースの向きを注意してください。(壁と垂直に交わる様にセットして下さい。)

高さを決めたら、あらかじめセットしておいた蝶ナットを回し、天井と家具との間を固定させてください。

この時、締め過ぎて天井を破損しない様、十分注意して行ってください。蝶ナットの向きも壁に対して垂直になるようにセットしておいてください。



以上で完了です。